

しなののうた

荏胡麻にも背骨があるを教はるる
我の背骨をすつと伸ばす



杉田小百合

しなののうた

昼食に荳胡麻の入る饅頭を味はい村の暮らしを思ふ

杉田小百合



しなののうた

祭礼の屋台を飾る
一刀彫り龍彫る人の
気色浮かべり



杉田小百合

しなののうた

寺庭に大樹の橡実を結び独楽作るるを懐かしみなり

杉田小百合



しなののうた

麻を蒸す大祭ありて麻績の里ふるさと館に往時を偲ぶ



杉田小百合